

2015年6月26日



21期東海教区女性会  
発行責任者：櫻井國江

# アガパンサス

## 神の愛に生かされて

### ～励まし合い、互いの向上に努める～

主題聖句 心を新たにしてお返しをいただき、何が神の御心であるか、何が善いことで、神に喜ばれ また完全なことであるかをわきまえるようになりなさい。

ローマの信徒への手紙 12：2 より

#### <巻頭言>

## 神様の出来事

東海教区教区長  
みのり教会牧師

三浦知夫



例えば「ジョギングをする」と決めて何年も続ける人もいれば、数か月で挫折してしまう人もいます。続けられそうもないので初めからやらないと考える人もいるでしょう。また、「毎日走る」と決めて大変になってしまう人も、「できる時に」と決めてだんだん走らなくなってしまう人もいます。「ジョギングをする」と決心しても、それを続けられるかどうかは、その人の性格や精神力、環境や健康状態など、さまざまなことによると言えます。

信仰についてはどうでしょうか。毎日、聖書を読もうとか、「聖書の学び」に欠かさず出席しようといった信仰生活の中で自分がしようと決めたことなら似たようなことになるかもしれません。しかし、信仰の歩みそのものは、本人の性格や精神力、環境などには影響されないものだと思います。信仰は、私の決意から始まる出来事ではないからです。神様からの一方的な招きに応え、神様からの一方的な恵みを受け取って始まるのが信仰の歩みです。信仰が揺らいでいると感じるとき、信仰が神様の招きと恵みから始まることを忘れて「自分の出来事」になっているかもしれません。

教区女性会の主題聖句として与えられた御言葉は、神様の恵みに応答していくときの私たちの在り方について教えている言葉です。イエス様の十字架による赦しを知った私たちがその恵みに応えて歩み出すのです。ここで教えられている歩みは、私たちが考え、私たちが決意して歩み始めるものではありません。神様が私を変えてくださることによって始まる歩みです。神様の御心が何であるかを聞くことから始まるのです。

神様の御心は、私たちが神様の働きを担う者になるということだけでなく、まず私たち自身が神様の恵みに満たされることです。絶えず注がれる神様の恵みを感じていればこそ、私たちも神様に従う歩みを続けていくことができると思うのです。

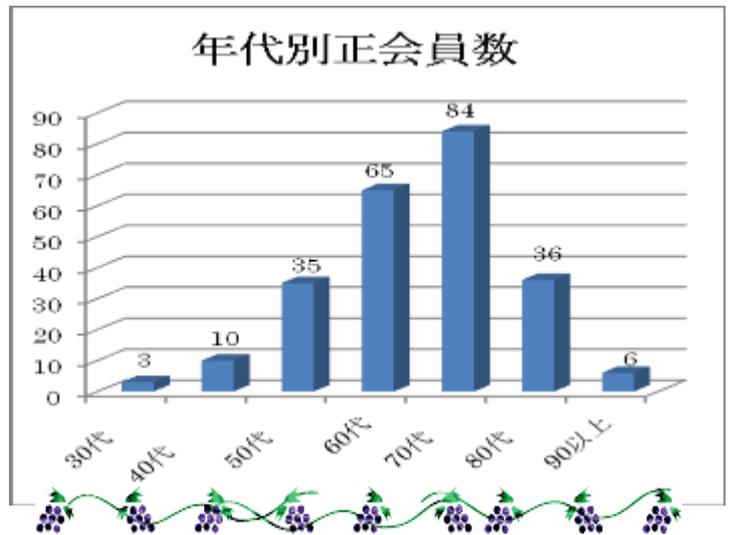
すべてを受け入れ

はぐくんで下さる 神のもとで

# 女性会は今 《1》

東海教区女性会の正会員数(4月現在 239名)の世代別人数を表すグラフでお分かりのように、60代以上が約8割をしめています。しかし、平均年齢が高くなってはいても、昔から今も変わらないものは、神のわざ!

女性たちは教会を力強く支えています。



## 富士教会女性会



## 女性会があればこそ!

礼拝後、連盟会報に沿って聖書の学びを行った後、残れる方で集会スペースに机やイスを並べ、軽食をいただきながら歓談の時間が始まります。

富士教会の女性会は、教会全体を巻き込んでいつも持たれています。美味しい食事デザートにフルーツやお菓子、歓談の時は女性会があればこそ、陰での働き感謝です、という男性陣からの言葉がありました。

今の会堂建築の返済時、財政上の厳しさから毎月のようにバザーを開催して教会を支えたこと、ホテルからチャペル・ウェディングを希望するカップルの結婚式を依頼されていた時、バージンロード、お花、その他、声を掛け合って取り図ったことなど、思い出話も楽しみました。

(今はホテル内にチャペルができ、依頼はなくなりました。)

高齢化に加え、自身の病や介護などの都合で集う時間が持てない会員が多く、女性会もなかなか開催できませんが、こうして男女の壁を越えて賛美し交わりを持つ機会が、富士教会の女性会の今のあり方です。(写真 2015年4月26日 文責：小谷由美子)



## エヴァの会



任期は終わったけれど、なにかお役にたつことはないかと「エンジェリーヌ (マドレーヌ)」や「天使のシール」の販売を始め、6年。18期女性会の役員だったハツラツ姉妹方～収益は、福祉村・ブラジル支援・神学校などに 献金しています。

「エヴァの会」の名付け親は、末竹十大先生。

左から、服部典子 (販売・宣伝)、伊藤由紀子 (製作)、一杉静子 (販売・宣伝)、菊池幸子 (製作)、朝倉三枝子 (広報)

## 魅力を感じられる女性会に！

加藤美幸（50代）

一月の持ち寄り昼食から始まり、クリスマス会で幕を閉じます。聖書研究、ホームとの交わり会、訪問伝道、老人ホーム訪問、特別女性会には外部の方を招いて勉強をします。今年50周年記念の行事として、オープンチャーチの計画も進めています。仕事や家庭の両立、それぞれの事情を抱えながらの活動ですが、感謝の気持ちを持ち続け、新しい会員が魅力を感じられる女性会になれる様、努力していきたいです。

### 「最上のわざ」

安井順子（90代）

大垣教会に親子で導かれて50年になり、私は93才になりました。毎週の礼拝に出席し、受付の奉仕をミセスボーマンと共に、楽しくお手伝いさせていただいて居ります。老後の生活を静かにと願って、息子が送ってくれた書に載っていた「最上のわざ」を、一部紹介します。

楽しんで年をとり、人のために働くよりも謙虚に人の世話になり、

弱って人の役に立たずとも親切で柔和であること。

老いの重荷は神の賜物、古びた心にこれで最後のみがきをかける。

まことのふるさとへ行くために。神は最後に一番良い仕事を残して下さる。

それは祈りだ。

祈りつつ日々を過ごしたいと願って居る此頃です。



年代のはなれたおふたりに書いていただきました。

## 新霊山教会女性会

### 芽生えはじめた信仰

安藤沙穂

私と娘は神様からのお招きにより、一年前に新霊山教会で洗礼を受けました。



こちらには4歳から94歳の教会員が在籍しており、親戚が集まっているような温かい空気があります。娘は礼拝に行くといつもお馴染みの方々にたくさん遊んでいただいたり、いろいろな方から「かわいいねえ。」と笑顔で声をかけていただいたり『おやこでよむせいしょ』より渡辺牧師からイエス様のお話をさせていただくこともあり、みなさんから大切に可愛がられて育っています。洗礼を受けて教会に通う月日を重ねていくうちにふと気が付いたら、娘にとって神様やイエス様の存在は、身

近なものになっていました。今日も一日の終わりに、明日も楽しく過ごせるように神様にお祈りし、穏やかで満たされた気持ちで眠りにつくことでしょう。

幼い心に信仰が芽生え始めたことはとても尊く、この恵みに感謝しています。



### ☆☆☆ 次の世代につなげていきたい ☆☆☆

寺嶋文世

若い姉妹がメンバーとして与えられ、皆大きな喜びに感謝しています。若い女性は子育てや仕事に忙しい毎日を送っています。教会役員の仕事や、親の介護、お孫さんのお世話をされながら女性会の働きを担っている先輩方。共に次の世代につなげていきたいです。

## ルターの結婚と家庭

齋藤幸二（大垣・岐阜教会牧師）

### - 1 - カタリナとの出会い

ルターは修道士でしたが、聖書的な根拠がない修道士や司祭の独身制に反対し、聖職者も結婚すべきであると主張していました。そして修道院も廃止すべきだと考えていました。1523年にヴィッテンベルクの近くにある女子修道院の修道女たちが修道院を脱出したいとルターに伝えてきました。ルターは12名の修道女を脱出させ、その後彼女たちを次々と結婚させました。しかしカタリナ・フォン・ボラだけは結婚の話がまとまりませんでした。彼女は「ルター博士なら結婚してもいい」と言いましたが、ルターはカタリナのことを「高慢で気位の高い女性」だと思い込んでいて、あまり気が進まなかったようです。しかし責任上？彼女と結婚しました。

1525年、ルター42歳、カタリナ26歳でした。

ルターが結婚したおかげで、私たちは結婚や家庭についてのルターの示唆に富んだ言葉を聞くことができます。ルターは妻カタリナのことをこう評価しています。

「わたしは妻のケーテをフランスやヴェネツィアとでも引き換えに手放すつもりはない。第一に、彼女は神が私に賜ったものであり、私も彼女に与えられたものだから。第二には、わがケーテよりも他の女たちのほうに多くの欠点があることがしばしば分かったからである。彼女にも欠点はいくらかあるけれども、むしろ、徳のほうがずっと大きい。第三には結婚生活を真実にするもの、すなわち信頼と貞潔のゆえである。これこそ敬虔な主婦にふさわしいものだ。」（世界の名著『ルター』より）



## 女性会の集い

2015年5月16日（土）場所：小鹿教会

### 初めまして！ 72歳の新人です。

高杉勝美（栄光教会島田礼拝堂）

女性会に入会したばかりです。毎週の日曜礼拝と、隔週の聖書を読み祈る会に出席する日々でしたが、今回初めて女性会のつどいに参加し、大勢の女性の力の結集を体感し、感動を覚えました。

大木恵子姉のピアノ演奏も、私たちに馴染みのある曲を選んでくださり、とても心地よい時を持つことができました。オルガン演奏も開会礼拝の前奏曲から、心が震えました。讚美歌指導もして下さり、1番は譜面を見ながらでも良いが

2番からは、顔を上げて、良い姿勢で歌うように、とのことでした。

70名余りの歌声が一つになり、大迫力でした。歌声が一つになること、女性会のみんなの力が一つになることの大切さ、を覚える、有意義な一日となりました。

役員の皆さん 小鹿教会の女性会の皆様に心より感謝致します。

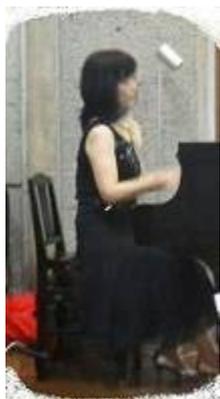


## 聖書の中の女性たち (その1) 「ヨハナ」

内藤文子 (栄光教会牧師)

ヨハナが聖書に現われるのは、12弟子の一行に同行し奉仕した婦人たち(ルカ8:3)と、イエスの墓に行った女性たち(ルカ24:10)の二つのみである。彼女は、ヘロデ・アンティパスの家令クザの妻。聖書の中でちらりとしか現れない女性だが、確かにマグダラのマリアたちと共に、持てる物を持って主に仕え奉仕している。このヨハナは、王の高官の妻と言う宮廷社会の女性であったと言う身分から、かなり裕福で財産を持っていたであろうということが考えられる。彼女について、調べたり書かれたりしている注解書はごく少なく、書かれてあるとしても「婦人たちの群れ」の中のひとりとしての説明となっている。しかしある「聖書注解」には、「隷属的な位置から人格的な福音の奉仕者に高められていった」という解釈もあった。

神学者のE・モルトマン・ベンデル(女性)は、著書『イエスをめぐる女性たち』の中で、このヨハナを取り上げている。クザとヨハナの属していたヘロデ王の宮廷での暮らしぶりを歴史的に推察しつつ、「残忍な王のもと、快樂・気まぐれ・富・裏切りなどの宮廷の雰囲気の中で、彼女がイエスと出会い、病気を癒され、新しい生活を求めて、夫・子・財産を捨てて弟子となったこと」を書いている。マグダラのマリアと並んで、イエスの神の子としての愛を知り、宮廷と夫への隷属から逃げた女性であると私は思う。しかし、子どもはどうしていたのか、…。気になるところです。



## 音楽は、神様からの贈り物

山内浩子 (掛川・菊川教会 掛川集会所)

集いの案内での公共交通機関の利用方法がとてもわかりやすく、予定より早く教会に到着しました。玄関先では、役員の皆さんが笑顔であたたかく迎え入れて下さり心が和みました。小鹿教会へは、40年程前に「青年会の集い」で訪れて以来の2回目となります。

開会礼拝では、讃美歌が高らかに合唱され、信仰への励ましをいただきました。

内藤文子牧師の説教の中では、過日イスラム国に拘束され非業の死を遂げられたジャーナリスト後藤健二氏(日本基督教団田園調布教会員)の著書に触れ「平和について」のメッセージが語られ、一同で「紛争のない平和な世界となりますように。」とお祈りいたしました。

この後の「癒しのオルガンコンサート」では、すばらしい教会音楽を聴きとても癒され、神様の豊かな祝福と導きを実感しました。「音楽は、神様からの贈り物」だと思います。

今回の集いで、共に祈り、よき交わりができたことを心より感謝いたします。



# 日本福音ルーテル教会女性会連盟

## 第23回総・大会

2015年6月2日～4日



### 初めて総・大会に参加して

小田 泉 (岐阜教会)

日本基督教団から転籍してこのたび初めて女性連盟総会に出席しました。祈りの内に多くの審議事項を協議し、それを通して神さまが確かに私たち一人ひとりを用いようとされていることを感じました。

特に印象深かったのは「サバ神学院神学生への支援」です。キリスト教信者に対して非常に苛酷なイスラム教の地で学んでいるマレーシアの神学生の苦難について、実際に現地を視察した人からの報告を聴きました。これまでサバ神学院の名前は聞いていましたが、実情を知らなかった私は折にふれて、一人でも多くの方に知っていただき支援に繋げていきたいと思ひます。

全日程を終えた後、初対面の東海教区の方々と東京駅でお昼を食べ、ひかり号で向い合せの席に座り総会の余韻を感じつつ帰途につきました。楽しい思い出になりました。



### 主イエスの深い愛を知る <大塚野百合先生の講演>

田口和子 (大垣教会)

英文学者で賛美歌の研究家でもある先生のお歳は90歳。この講演では、私たちに馴染みの深い「主われを愛す」「シャロンの花」「やすかれわがこころよ」などの賛美歌の中に隠されている宝のようなお話を闊達な口調でして下さいました。私たちが普段使う讚美歌の歌詞と原文とは違う印象があったり、原文の方がもっと深くイエス様の愛や、作者の信仰が伝わってくるものが多くありました。例えば教会賛美歌374番「たよりまつる主のほか」は1872年アニー・ホークスという主婦がある日家事をしている時、イエスがすぐ近くにおられることを感じて書いたそうです。平凡な日常生活をしながらこの讚美歌ができたということは驚きでした。

先生のお話をお伝えしきれませんが、講演の中で聞いた素敵な言葉をお分ちしたいと思います。『キリストは、我らをどこまでも追いかけ給う（私を捕らえて離さない）恐ろしき恋人である。』

私たちには、こんな恋人がいて幸せだと思います。

### 説教台を輝かせよう！ <鈴木浩先生の講演>

堀 育美 (なごや希望教会)

講演をお聞きし、宗教改革の意義を再認識しました。

カトリック教会とルーテル教会が宗教改革500周年を共同で記念するため“一致に関するルーテル＝ローマ・カトリック委員会”があることを知りました。結成から50年。鈴木浩先生も委員で 常に対話を重ねていらっしやるとのこと。

←詳しくは、『争いから交わりへ』の本を読んで下さい～ということです。

「説教の責任の半分は牧師、半分は信徒である。説教を真剣に集中して聞こう。神の福音を鮮やかに、力強く、喜びに溢れて語り、発信する教会にし、説教台を輝かせよう！！」と力強いメッセージをいただきました。

信徒一人一人が、心に留め、主イエスと共に歩んでいけますように。

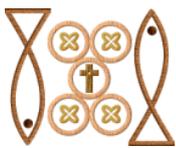
このような機会を与えられ、この場に置かれたことに感謝します。



## 21期の役員です。どうぞ よろしく お願いします。

副会長  
田口和子会計  
堀 育美教区会長  
櫻井國江連盟会長  
芳賀美江書記  
小谷由美子

これまでつなわれ、積み上げられてきた教区女性会の歩みを引き継ぎ、『神の愛に生かされて』(21期教区女性会主題) 知恵と力が与えられ、用いていただきますよう、5人で祈りつつ計画していきます。「女性会の集い」で、教区の姉妹方が共に礼拝し、顔をあわせ 交わりを深めることによって、また、この女性会だよりを通して『励まし合い 互いの向上に努める』(副主題) 女性会でありますように。



## 自己紹介します。

- ① 家族
- ② 趣味
- ③ 好きな聖書のことば

副会長：田口和子  
(大垣教会)

- ① 夫、看護師の娘の3人家族。  
夫の面白ギャグで癒されています。
- ② 自然の豊かな垂井町(大垣市の西隣)に住み、どっしりとした伊吹山、緑の養老山脈  
麦畑、冬には 降積る雪景色を眺める事が好き。  
ルターホームの人たちと一緒に組み紐を習っています。
- ③ 味わい、見よ、主の恵み深さを。 詩編 34・9より

教区会長：櫻井國江 (栄光教会焼津)

- ① 1女3男の子供たちは家を離れ、夫とふたり暮らし。孫は3人。
- ② 花を育てること。HP作り。(栄光教会とNPO 焼津の障がい者就労支援事業所のHPを担当。アガパンサス編集も、HP作りと共通するところがあるので、喜んで取り組んでいます♪)
- ③ 主に自らをゆだねよ 詩編 37・4より

連盟会長：芳賀美江 (小鹿教会)

- ① 2男1女の3人(独身)は東京に住んでいて、夫とふたり暮らしです。
- ② 花の種を採って蒔き育てること。ヒューマンドラマの作品を映画館で見ること。
- ③ 神はわたしたちの避けどころ、私たちの砦。  
苦難のとき、必ずそこにいまして助けてくださる。 詩篇 46・2

書記：小谷由美子 (富士教会)

- ① 夫、犬(しのん)と暮らしています。  
娘・息子がいますが、進学などで下宿暮らしです。
- ② 教会暦に沿ったコラール曲の練習。  
美味しい店を探しだすこと。
- ③ 何事にも時があり、天の下の出来事には  
すべて定められた時がある。

コヘレトの言葉 3・1

会計：堀 育美 (なごや希望教会)

- ① 夫・長女(大学3年)次女(大学1年)  
4人家族です。
- ② 夏は夫と山登り♡ 冬は家族でスキー♡  
お花と触れ合い活けること。夫とお酒を  
飲みながらのおしゃべり。
- ③ 奉仕の賜物を受けていれば、奉仕に専念  
しなさい。ローマの信徒への手紙 12:7より



「中高生堅信教育支援」を→「**次世代育成支援**」と名称を変更しました。  
引き続き 支援していきましょう！

## グリーンズ・フェア

らいねんも 来てね!



バンドによるライブやソフトクリーム、カレーや豚汁、衣類などたくさんの出店。羊の毛刈り、仔羊レースなど動物との触れ合いも楽しい。小雨が降る中を家族連れなど大勢のお客で賑わいました。ディアコニアの皆さんも車椅子で参加し、女性会のメンバーもお手伝い♪

櫻井会長手作りの筍入りちらし寿司（美味しかった!）、内藤先生手作りのおこわ、ケーキ、息子さんがデザインして作った妖怪ウオッチやアンパンマンなどのクッキー、好評で午前中に完売でした。

来年は、是非皆さんも参加されたいかがでしょうか。

in デンマーク牧場福祉会

2015年5月4日 芳賀美江

じまんの

## うちの教会のランチ・お菓子



やいづ井

の街

◆栄光教会 焼津礼拝堂

お米は、農家の姉妹が献品、魚屋から鮪のさくを買ってきて切り、畑から自家製野菜を朝採りし色どりに♪鮪を中心に、ひじきの煮物や錦糸卵を添えるのも好評！何十年ものぬか漬けは、絶品 ☆☆☆皆で手分けして、楽しく準備します。

募集中です : [kun@veritas.jp](mailto:kun@veritas.jp) 櫻井まで、お寄せ下さい。<(\_)\_>

2015年

10月24日(土)

どうぞ お楽しみに!

## 女性会の集い

10:00より 開会礼拝

10:00~15:00

カトリック多摩教会 晴佐久昌英神父 講演会

10:30~12:00 講演会

場所：日本福音ルーテル なごや希望教会

1957年東京生まれ。カトリック信者の両親のもと、教会大好き少年として育つ。上智大学神学部、東京カトリック神学院卒。87年、司祭になる。エッセイ集、詩集、絵本、説教集、信仰入門書等、著書多数。

